

Julabo Case Study

32

JULABO Presto W80

10リットルのガラス反応容器を用いて、
-60°Cから+100°Cまでの加熱・冷却運転を実施。



目的

10L ガラス反応容器で JULABO PRESTO W80 の加温と冷却試験を実施しました。W80 は 1.0 m の金属チューブ 2 本を介して反応容器に接続されています。

W80 は-60°Cから+100°Cの範囲でプログラムされています。

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電圧	230 V / 50 H z

テスト条件

製品型式	JULABO Presto W80
冷却能力	+20 ° C 1.2 kW
	0 ° C 0.9 kW
	-20 ° C 0.6 kW
ヒーター能力	1.8 kW
帯域制限	なし
吐出圧	0.5 bar
循環液	JULABO Thermal HL80
反応容器	10L ガラス製反応容器 (Normag社製)
	内部を JULABO Thermal HL80 10L で満たす
温度制御	外部制御(ICC)



テスト結果

次ページのグラフを参照してください。

W80 は加温制御において-60°Cから+100°Cまで 2 時間 30 分で到達し、オーバーシュートすることなく、+100°Cに温度調整されます。

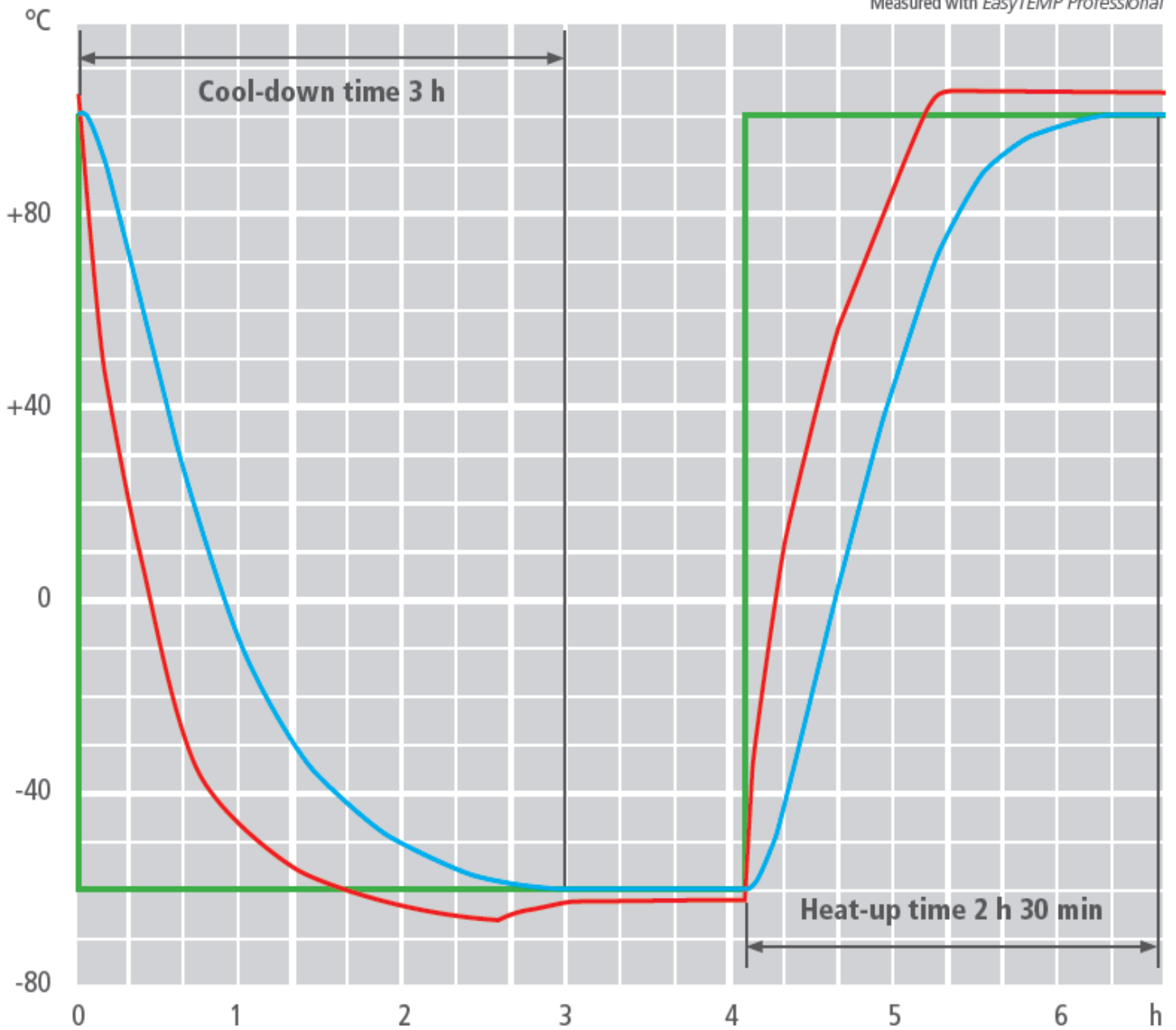
W80 は冷却制御において+100°Cから-60°Cまで 3 時間で到達し、オーバーシュートすることなく、-60°Cに温度調整されます。

特徴

ポンプの圧力を調整するためにオプションをご利用下さい。プレストの設定で圧力を変更・調整することが出来ます。



Measured with EasyTEMP Professional



- Setpoint 設定温度
- Temperature in reactor's interior 反応容器内の温度
- Temperature in reactor's jacket ジャケット温度